

東北に炎でエール

YAMANEKO
楽舎など キャンドル3110個ともす

狩野川記念公園

東日本大震災から10年となる11日夕、伊豆市の狩野川記念公園で「伊豆の真ん中から東北に送ろう! 追悼・エール・絆の灯」が行われた。3110個のキャンドルに思いを込めて火をともし、復興途中の東北にエールを送った。

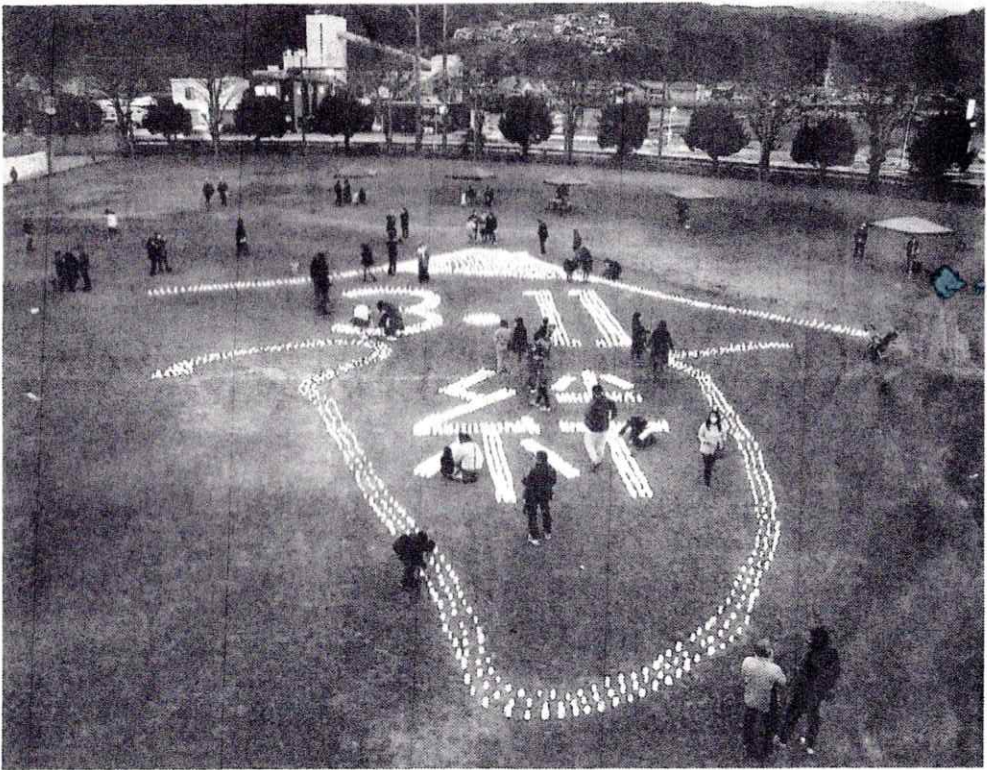
伊豆の国市を拠点に活動するボランティア団体「YAMANEKO楽舎」と、趣旨に賛同した人たちがつくる「3・11を忘れない仲間の会」が主催した。

キャンドルを入れた瓶で、「3・11」「絆」「富士山」「駿河湾」を形作り、順番に点火した。瓶には全国各地の人たちから寄せられたメッセージ入りの用

紙を巻き付けた。最後の10個は、子どもたちが点灯した。用紙の一部は会場に飾った。このほかにも、オンライン会議アプリや電話などで東北の人たちと会場をつないだ。伊豆で活躍する人たちが出演し、歌やダンスな

どを披露した。プロジェクトの様子は、YouTubeでライブ配信した。FMいずのくにでも放送した。多くの人がボランティアとして協力した。

YAMANEKO楽舎の市川幸子代表は「東北の人たちに皆さんの気持ちを届けることができ感謝無量。伊豆地域の皆さんの多大な協力でプロジェクトが開催できた。東日本大震災で学んできたことを生かすための振り返りの機会となればうれしい」と話した。



「3・11」などの文字を形作った3110個のキャンドル
伊豆市の狩野川記念公園